

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	情報処理基礎	科目名	データベース技術				科目コード	T1040A4	
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位	
担当教員名	寺井 健一郎	履修グループ	1C(JN/JT/KS)				授業方法	講義	
実務経験の内容	システムエンジニアとしてIT企業に15年勤務し、メインフレームやUNIX上で稼働するソフトウェア製品の新規開発、機能拡張、日本語化、及びインシデント発生時のサポートに従事した。 この授業では、データベースを利用したプログラムの開発や、大規模データベースを利用したデータ分析システムに関わった経験をもとに、データベースの設計・構築・運用ならびにSQLについて実践的に指導する。								
学習一般目標	企業で行う業務(タスク)で必要となる知識、技術を習得する。 授業と自宅学習を通じて習得した基本的な知識を組み合わせる力、応用する力を養い、基本情報技術者試験の科目A問題を解ける自信を持つことが目標となる。 「情報」は企業の経営資源「人・金・物」に次いで第4の経営資源と言われている。本授業では、「情報」を企業の共有資源として効率よく表現する「データベース」について、その考え方、設計に必要な基本的な手法、データベースの仕組みを理解し、その活用のための言語であるSQLの使用法を修得することを目標とする。 また、データベースを構成する情報処理システムについて、その処理形態、信頼性、評価方法を理解することを目標とする。								
授業の概要および学習上の助言	データベース分野では、データベースの概要として、データのモデル化手法に関するE-R図、正規化理論、DBMSに関する排他制御、障害回復について説明・演習を行う。次に、SQL言語の基本的な文法を説明し、演習を通じて机上でSQL文の結果が導き出せるようにしてもらう。 情報処理システム分野では、様々な形態について説明するとともに、CPUのMIPS値、稼働率の計算演習をおこなう。 教科書をベースとして進めるが、項目によっては別途プリントを配布してより詳細に説明する。								
教科書および参考書	教科書:ITワールド(第4部 データベース と 第2部 情報処理システム) インフォテック・サーブ 参考書:基本情報技術者 科目A問題集 インフォテック・サーブ 参考書:キタミ式イラストIT塾 基本情報技術者 令和8年 技術評論社								
履修に必要な予備知識や技能	なし								
使用機器	書画カメラ プロジェクタ								
使用ソフト									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標							
	1	データモデルとして関係データベースの特徴を説明できる。単純な事例についてE-R図を作成できる							
	1	データの正規化を行うことができる。排他制御、障害回復の概要について説明できるSQL文の文法を理解し、基本的なプログラムを作成できる							
	1	情報処理システムの形態、構成の概要について説明できる。データモデルとして関係データベースの特徴を説明できる							
	2	知識を組み合わせ、基本情報技術者試験問題の題意を理解し、解くことができるようになる							
5	関心意欲を持ち取り組むことができる								
達成度評	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	学部D	1.知識・理解	30	20					50
		2.思考・判断	20	15					35
		3.態度							

価	P	4.技能・表現							
		5.関心・意欲						15	15
	総合評価割合	50	35					15	100

評価の要点

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	定期試験時に、基本情報技術者試験の科目A問題や午前問題の過去問を出題する
小テスト	基本情報技術者の科目A問題や午前問題の過去問や同レベルの問題を出題する
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席回数、態度など総合的に判断する

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	第4部 データベース データベース方式 ・データベースの種類と特徴 ・データベースのモデル ・DBMS データ操作① ・データベースの操作 ・SQL①	講義・演習	1 データベースの概要 1-1 データベースとファイルの違い(P.216) 2 SQL 2-2 データ操作 2-2-1 条件指定のない参照(P.235)
第2回	データ操作② ・SQL②	講義・演習	2-2-2 条件指定のある参照(P.236) 2-2-3 データのグループ化(P.238)
第3回	データ操作③ ・SQL③	講義・演習	2-2-5 テーブルの結合(P.240)
第4回	データ操作④ ・SQL④	講義・演習	2-2-6 副照会(P.243) 2-1 データ定義(P.231) 2-2-7 その他のSQLの使用 方法(P.245)
第5回	データベース設計① ・データ分析 ・データベースの論理設計	講義・演習	1-2 データベースの設計 1-2-1 データモデル(P.217) 1-2-2 関係モデル(P.218)
第6回	データベース設計② ・データ分析 ・データベースの論理設計	講義・演習	☆ E-Rモデル演習 1-2-3 データベースの概念 設計(P.220)
第7回	データベース設計③ ・データの正規化 ・データベースの物理設計	講義・演習	☆ 正規化演習 1-2-4 データベースの論理 設計(P.222)

第8回	トランザクション処理① ・排他制御 ・リカバリ処理 ・トランザクション管理	講義・演習	1-3 データベース管理システム 1-3-1 データベース定義機能(P.224) 1-3-2 データベース操作機能(P.224) 1-3-3 データベース制御機能(P.225)
第9回	トランザクション処理② ・データベースの性能向上 ・データ制御 データベース応用 ・データウェアハウス ・データマイニング ・分散データベース ・リポジット	講義・演習	1-3-3 データベース制御機能 (3) 障害回復機能(P.228) 3 いろいろなデータベース(P.247)
第10回	第2部 情報処理システム システム構成要素① ・システムの処理形態 ・システムの利用形態 ・システムの適用領域 ・仮想化 ・クライアントサーバシステム ・WEBシステム ・シンクライアントシステム	講義・演習	1 情報処理システムの処理形態 1-1 非対話型処理システムと対話型処理システム(P.112) 1-2 一括処理システムと即時処理システム(P.113) 1-3 集中システムと分散処理システム(P.114)
第11回	システム構成要素② ・フォルトトレラントシステム ・RAID ・NAS ・SAN ・P2P ・ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC) ・クラスタ	講義・演習	2 高信頼化システムの構成 2-1 直列システム(P.120) 2-2 並列システム(P.121) 2-3 多重化システム(P.123)
第12回	システムの評価指標① ・処理の能力の評価	講義・演習	3 情報処理システムの評価 3-1 処理能力の評価(P.126)
第13回	システムの評価指標② ・信頼性指標 ・信頼性特性と評価 ・経済性の評価 ヒューマンインターフェース ・GUI ・画面設計 ・コード設計 ・ユーザビリティ マルチメディア ・パルス符号変調 ・静止画(BMP・Jpeg・GIF) ・動画処理 ・CG、3D、VR	講義・演習	3-2 信頼性の評価(P.131) 4 ヒューマンインターフェース(P.139) 5 マルチメディア(P.151)
第14回	課題解決型授業Ⅰ 必要な情報を取得する	遠隔授業 実施時期:5期	授業内容を復習
第15回	課題解決型授業Ⅱ データベース設計を考える	遠隔授業 実施時期:7期	別途指示